

平成26年度「ひょうご地域安全まちづくり活動賞」受賞者一覧(50音順)

【個人の部:5件】

氏名 (年齢)	住所地	所属団体	活動分野	主な功績の概要
高松由美子 (60歳)	加古郡 稲美町	公益社団法人ひょうご被害者支援センター、犯罪被害者自助グループ「六甲友の会」、全国犯罪被害者の会「あすの会」	犯罪被害者等支援	平成9年8月に長男(当時15歳)を同級生を含む少年10人からの集団暴行により殺害された犯罪被害者遺族である。自身の被害者遺族としての体験をもとに、全国各地の犯罪被害者遺族に対して裁判における支援傍聴(裁判への付添い)を約800回実施したほか、小中学校をはじめ全国各地の少年院、刑務所、弁護士会、教育関係機関等における講演活動や「生命のメッセージ展」等の活動を展開。 自身が犯罪被害者遺族として苦しんだ経験を踏まえ、被害者等の支援活動や子ども達を加害者にも被害者にもさせないための講演活動等を通して、安全安心な地域づくりに多大に貢献している。
名口 治 (70歳)	神戸市 垂水区	垂水防犯協会霞ヶ丘支部、霞ヶ丘ふれあいのまちづくり協議会、霞ヶ丘地域防犯グループ、霞ヶ丘健寿会垂水区老人クラブ連合会	防犯	毎日、登下校時に通学路で子どもの見守り・立番や防犯パトロールを行い、学校行事や地域行事においても児童の安全確保のため精力的に活動。 防犯協会の支部長や防犯グループ会長等も務めており、地域安全マップの作成配布や研修会等での講話、防犯キャンペーンの企画運営に携わるなど、地域での中心となって幅広く活動を展開している。
船越 正男 (89歳)	淡路市	淡路防犯協会、淡路市小・中・高校生徒指導学警連絡会、兵庫県警察少年警察指導委員	防犯	警察官を退職後、地域の青少年健全育成活動、暴力団排除活動、交通問題等長年にわたりボランティア活動に積極的に取り組み、地域のリーダーとして活躍している。平成4年4月には、淡路市(当時津名郡)中高校生徒指導連絡協議会を設立し、自ら事務局長として活動。教育委員会等と緊密に連携し、子どもの登下校を見守る活動のほか、子ども、教師、保護者に対して犯罪、交通事故防止の安全教室も開催するなど、地域住民の安全・安心に大きく貢献している。
三輪 一三 (79歳)	美方郡 香美町	香住交通安全協会、香美町老人クラブ連合会	防犯	幼稚園児から高校生までの登校や社会人の通勤時間帯に合わせ、毎朝、交通指導や見守り活動を実施。活動は、雨や雪の降る日も強風の日も休むことなく、子ども達が登校し終わるまで行うなど、非常に精力的に活動している。 また香住交通安全協会会長や老人クラブ連合会会長を務めるなど、地域住民の中心的立場となって警察、行政、学校等の各機関と連携した活動を展開。
米村 豊 (91歳)	三木市	人の目の垣根隊	防犯	高齢にもかかわらず「人の目の垣根隊」(三木市教育委員会が子どもを犯罪、事故から守り安心安全で快適な地域づくりを目的に設置)に登録し、雨の日も風の日も、児童登校時の見守りを行っている。 また小学校で6年生対象に行われる平和学習では講師を務める等、学校との有機的な連携が図られている。

【団体の部:14件】

団体名	所在地	代表者名	活動分野	主な功績の概要
大野地区防犯グループ協議会	洲本市	上原 精農	防犯	町内会、老人クラブ連合会等、地域の14団体により構成された団体で、児童登下校時の見守りを中心に各種安全対策を推進。昼夜間における防犯パトロールや、危険箇所等の点検・調査を行い自治体等へ改善策を提案するほか、地域の絆を強化するための挨拶運動を地道に継続・展開している。活動に際しては、統一デザインのユニフォームを着用するなど地域に定着したもので、地域住民の安全・安心確保に大きく貢献している。
温泉小学校PTA	美方郡 新温泉町	倉田 和則	防犯	小学生が描いた防犯ポスターの優秀作品を印刷、パウチして玄関先や自家用車に貼付する等の取組みを行い、地域全体の防犯意識醸成に大きく貢献。 また毎春、地区ごとに児童や保護者が寄せ集めた危険箇所情報を掲載する安全マップを作成し、学校ホームページで公開するなど、地域住民との情報共有にも努めている。
神原 安心の町づくり 懇談会	西宮市	久保田泰正	防犯	小学校区内の自治会、PTA等26団体で構成された団体で、安心して暮らせるまちづくりを目指す。通学路の安全確保を図るため、危険箇所の点検・把握をはじめ、安全マップの作成、行政機関等への改善要望書の提出を行い、全戸配布の地域情報紙に活動状況や地域の安全情報等を掲載することで住民の意識醸成に大きく貢献。 同団体の取組みにより、通学路での注意看板や横断歩道、信号機設置等が着実に進んでおり、通学路の美化、環境整備面での功績はとりわけ大きい。
公益社団法人 ひょうご被害者 支援センター	神戸市 中央区	井関 勇司	犯罪被害者等支援	県内で唯一、県公安委員会指定の「犯罪被害者等早期援助団体」として、警察や行政等の関係機関等と連携しながら、犯罪被害者や遺族からの相談に電話や面接で応じる「相談事業」や被害者等が裁判所や病院へ赴く場合の付き添いなどの「直接支援事業」をはじめ、被害者、遺族等の自助グループへの支援、犯罪被害者等支援の重要性に関する県民意識を啓発する広報活動等の各種活動に取り組み、犯罪被害者の心のケアや社会全体で被害者を総合的にサポートできる環境づくりに大きく寄与している。
神戸新聞 神戸市専売会	神戸市 中央区	脇水 均	防犯	県、県警等と防犯活動の実施に関する協定を締結し、同専売会を構成する50販売店、約1500名の従業員が新聞配達時等の防犯パトロールを実施するほか、各警察署と連携しながら防犯チラシの新聞折り込みや、ミニコミ紙への情報掲載等を行う。先般、神戸市長田区で発生した女児行方不明事案（後に殺害遺棄事件と判明）では、地域の要請を受け公開捜査チラシを大量印刷する等、各販売店で地域に根ざした防犯活動に取り組んでいる。 その他、高齢者の見守りについて県、関係機関と協定を締結し、郵便受けに新聞がたまっている等の異変を通報することで、高齢者の孤立や孤独死を防ぐ活動にも取り組んでいる。
公友会	加古川市	村上 公敏	防犯	現役の兵庫県職員で結成されたボランティア団体で、東播地域を拠点に青パト車の運行を中心としたパトロール活動、子どもの見守り活動を展開。警察とも緊密に連携し、日常的な情報交換をはじめ合同キャンペーンを実施。その他、高齢者大学での防犯講話や、災害時には被災地に赴いて炊きだしや環境整備等の支援活動も行うなど、幅広い活動を展開している。

団体名	所在地	代表者名	活動分野	主な功績の概要
宍粟少年指導委員会	宍粟市	南場 六郎	防犯	「青少年を守り育てる会」を目指して活動する団体で、青パトの運行による子どもの見守り活動を行うほか、平成23年には劇団「宍禾（しさわ）」を立ち上げ、青少年の薬物乱用防止や高齢者への振り込め詐欺被害防止について、視覚に訴えながら分かりやすく市民への啓発を行っている。また「青色防犯パトロール犬」として警察署長から委嘱された2頭の犬を青パト車に同乗させる等、耳目を集める斬新な取組みがなされている。
成松暴力団追放協議会	丹波市	永廣 正昭	暴力団追放	丹波市内で事務所を構える暴力団に対抗し、同地区からの暴力団追放を目的に地域住民で結成された団体で、行政、警察等と連携しながら決起集会やキャンペーン等の開催、横断幕・看板・防犯カメラ設置等の活動を展開することで地域の暴追気運を盛上げ、平成26年4月には同地区からの暴力団事務所撤退を実現した。 暴力団撤退後の現在も、暴力団空白地区を継続するためキャンペーン等の活動を展開している。
東灘防犯協会 魚崎支部	神戸市 東灘区	室谷 弘文 (H26.9.30時点)	防犯	安全・安心な明るい社会づくりを目標に警察との連携のもと、地道に地区の防犯活動に取り組んでいる。近年では、中学生ボランティアグループと連携を密にするなど若手の育成に努めるとともに、防犯カメラの学校施設等への設置に尽力している。 その他、登下校時の見守りをはじめとする子どもの安全対策、高齢者に対する振り込め詐欺被害防止対策など、地域の実情に応じた防犯活動に取り組むなど、他の防犯団体に範を示す活動を展開。
兵庫県警友会 加古川支部	加古川市	加藤 次男	防犯	県警察職員のOB団体で、現役時に培った防犯上のノウハウを活かして社会貢献することを目的に活動。自治体、警察と連携して青パトの運行を行ったり、学童保護や防犯面での啓発活動を継続的に実施。また警察や行政等とのつながりが強く、上記パトロール活動のほか、キャンペーンや各種行事、大会等にも積極的に参画している。
兵庫県 神戸新聞専売会	神戸市 中央区	澤田 和雄	防犯	県、県警等と防犯活動の実施に関する協定を締結し、同専売会を構成する115販売店、約3500名の従業員が新聞配達時等の防犯パトロールを実施するほか、各警察署と連携しながら防犯チラシの新聞折り込み、青パト車の運行等、地域の実情に応じた活動を展開。 また、高齢者の見守りについて県、関係機関と協定を締結し、郵便受けに新聞がたまっている等の異変を通報することで、高齢者の孤立や孤独死を防ぐ活動にも取り組んでいる。
広峰地区 連合自治会	姫路市	藤谷 祥次	防犯	毎日、子ども達の下校時刻に合わせた交通安全、防犯パトロールを実施。交通量の多い箇所や危険箇所を重点的に巡回しながら子ども達への声かけを行っており、学校をはじめ地域住民からも深く感謝が寄せられている。 パトロールの参加者には、警察で開催される講習会への参加を義務づけ、会員の意識と資質の向上を図る取組みがなされている。
みなぎ台 防犯グループ	三木市	川端 昭延	防犯	住民の連帯意識が希薄となりがちな新興住宅地にありながら、防犯協会支部、自治会、PTA、老人会等の地域団体が連携し結成された団体で、365日の防犯パトロールを実践。防犯情報紙の作成・全戸配布やのぼり旗の掲出、チラシ、防犯グッズの配布等を通し、地域における情報共有、防犯意識高揚に大きく貢献している。
安室東青パト 運行協議会	姫路市	井上 克己	防犯	下校時間帯における通学路及び夜間における小中学校区内の青色防犯パトロールを実施。活動に際しては、警察との情報共有を密にし、犯罪情勢に応じた重点パトロールを展開するほか、夜間にはコンビニなどに立ち寄り、少年の補導活動も行う。 その他、小学校校門において来訪者をチェックするスクールヘルパーとして学校の安全対策にも大きく貢献。